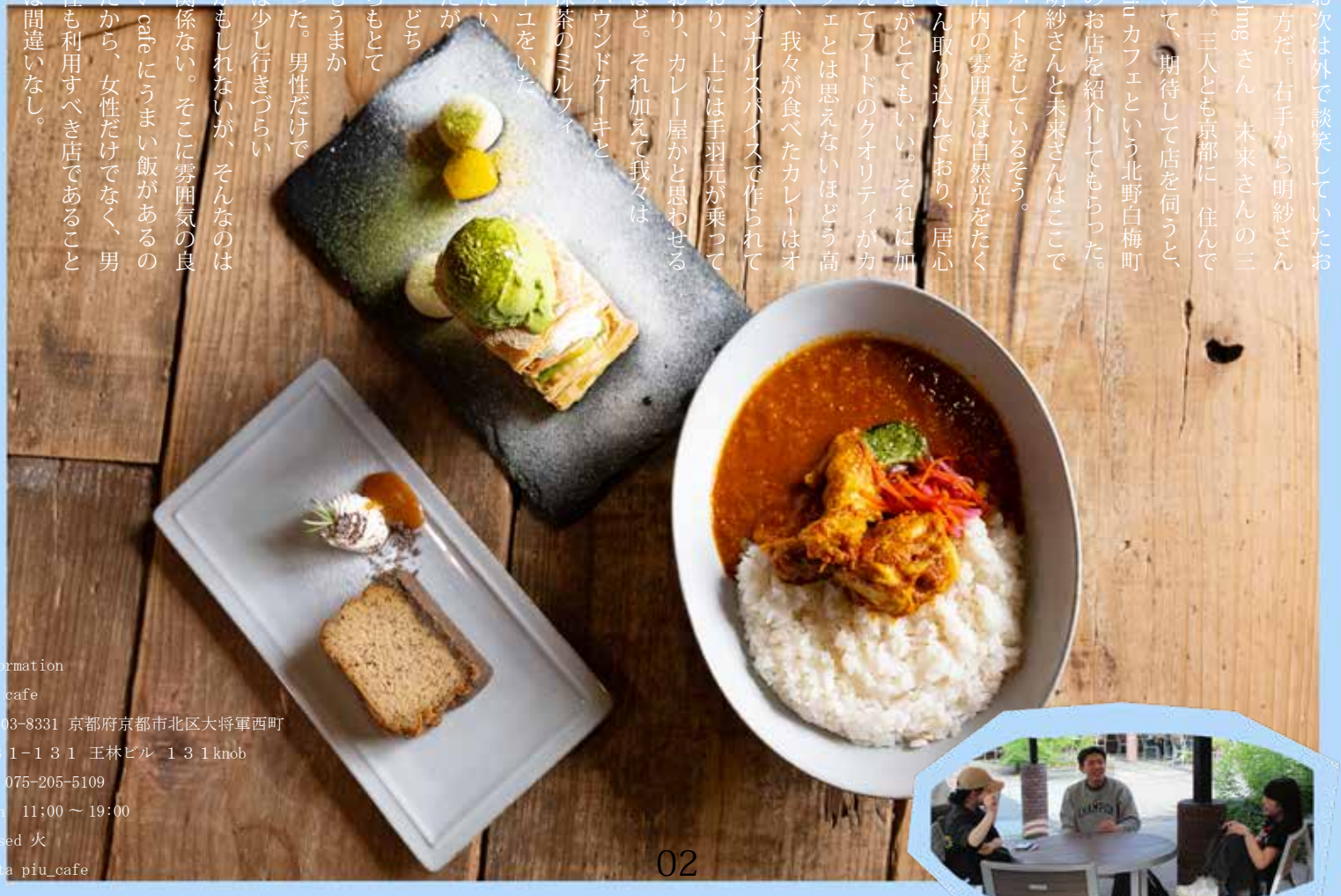
PIU CAFE

お次は外で談笑していたお三方だ。右手から明紗さん、Jolling さん、未来さんの三人。三人とも京都に住んでいて、期待して店を伺うと、piu カフェという北野白梅町のお店を紹介してもらった。明紗さんと未来さんはここでバイトをしているそう。店内の雰囲気は自然光をたくさん取り込んでおり、居心地がとてもいい。それに加えてフードのクオリティがカフェとは思えないほどう高く、我々が食べたカレーはオリジナルスパイスで作られており、上には手羽元が乗っており、カレー屋かと思わせるほど。それ加えて我々はパウンドケーキと抹茶のミルフィーユをいただいたが、どちらもとてもうまかった。男性だけでは少し行きづらいかもしれないが、そんなのは関係ない。そこに雰囲気の良いcafeにうまい飯があるのだから、女性だけでなく、男性も利用すべき店であることは間違いなし。



information
piu cafe
〒603-8331 京都府京都市北区大将軍西町
１３１−１３１ 王林ビル １３１knob
tel 075-205-5109
open 11:00 ～ 19:00
closed 火
insta piu_cafe

information
大徳寺
〒603-823 京都府京都市北区紫野大徳寺町 53
tel 075-491-0019
open 10:00 〜 16:00

フランス出身のレアさん。外のベンチで気持ちよさそうに友達と話していた。文学部の３回生のフレンチガール。彼女の京都のおすすめスポットは大徳寺。彼女の趣味はハイキングとのことで彼女にぴったりのスポット。さらに紫竹庵を紹介してもらった。和菓子のお店で大徳寺の近くにあるので、行きしなに買って大徳寺で食べるも良し、帰りに買って帰るも良しとのこと。これがフレンチガール流京都の楽しみ方かと、日本人ながらに新しい発見をしてしまった。

swag

大徳寺の縁で、写真をとっていた人がいたので思わず声をかけてしまった。彼女も大徳寺が好きでよく来るそうで、大徳寺は京都の数ある観光地のなかで、人がごった返している京都でここまで人が少なく京都を感じれるスポットと彼女は言っていた。いつまで日本にいるのと聞くと「もう日本は暑すぎるから帰るよ」と回答が。祇園祭も人多し、気温暑しで行かないそう。日本の魅力は「静」なのかもしれない。

「雑誌取材をやめて、ゆっくりしよう。」
そういった発言をしてしまうほど大徳寺にはゆっくりした空気が漂っている。京都の一番の良いところはこの雰囲気。最近の京都はどこか急ぎすぎている。人があまりいないので、京都の穴場スポットとして、覚えておいてもらってもそんはさせないだろう。

大徳寺

03
DIVE.

Kyoto town guide